

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第17週 (4/25-5/1) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		17週	16週	15週	14週
上段:患者数	小児科	17	18	18	17
下段:定点当たりの患者数	眼科	4	5	5	5
	インフルエンザ*	26	28	28	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	4/25-5/1	4/18-4/24	4/11-4/17	4/4-4/10	4/18-4/24
			17週	16週	15週	14週	16週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0	6	1	1	27
	感染性胃腸炎		77	127	113	68	585
	水痘		3	0	1	1	5
	手足口病		0	0	0	0	9
	伝染性紅斑		1	1	0	0	3
	突発性発しん	↓	12	15	11	7	53
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	4
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	5
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	1
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	1	0	4
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 1,460 例 ※ 新型コロナウイルス感染症1,453例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	20歳代	IGRA検査	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	60歳代	病原体の分離・同定及び薬剤耐性の確認
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出				
結核	女性	90歳代	病原体等検出等	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	50歳代	病原体の分離・同定
レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出				
梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第17週は、結核3例(55)、レジオネラ症1例(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例(6)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(1)、梅毒1例(10)、新型コロナウイルス感染症1,453例(53,279)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第17週のコメント

<突発性発しん>

前週より減少し、0.71となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。区別の発生状況は、若葉区(1.50)で最多で、同区の6-11か月で多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf